

令和4年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立保谷中学校	校長名	三沢 英俊
-----	------------	-----	-------

教育理念及び教育目標

生徒が大人になったとき、自らのよさ・強み【資質・能力】を發揮し、堂々と生きていけるよう、未来社会の創り手となるその素地を、引き出し培っていく。
「生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、自己実現に向けて「自ら主体的に学ぶ力」を高め、人と協働しながら自らのよさ・強みを見出し、「自主自立」につながる「やり抜く心と体」を培う学校」の創造

真理を求め、平和で民主的な社会の創り手となる人間の育成

- 進んでやりぬく心と体をもつ人となる・・・【実践力】・・・【心身】
- 自分で正しく判断し行動する人となる・・・【課題解決力】・・・【知】
- 責任を重んじよく協力する人となる・・・【人間関係形成力】・・・【徳】

学校の特徴

- 1 伝統に培われた「地域からの信頼と母校愛」
- 2 自主・自立の精神を尊ぶ「伝統的な校風による自治活動の充実」
- 3 豊かな人権感覚に基づく「協働的な学習」及び個別の学習支援による「個に応じた学習指導の充実」
- 4 自主・自立の精神に基づき主体的・意欲的に「生徒が自ら創り上げる学校」
- 5 充実した人生のための、体力増進、心身の健康など「健康教育の推進」
- 6 本校区内小学校との連携による「西東京市小中一貫教育の充実」
- 7 P T A・親父の会・地域・関係諸機関との「質の高い行動連携」

目指す学校像（学校像、生徒像、教師像）

- (1) 目指す学校像…「豊かな人権感覚に根差したあたたかな環境と信頼関係に基づき、安心して課題解決にチャレンジできる学校、生徒が主役となり、自他ともに多様な可能性やよさ【資質・能力】を高め合える学校」
- ① 生徒にとって明るく、楽しく、将来の【自主自立】に向けて、安心してチャレンジし、自他の可能性やよさ【資質・能力】を相互に引き出し高め合える学校
 - ② 保護者・地域の方々が、未来の宝である子供を通わせたいと思う信頼できる学校
 - ③ 保護者・地域の方々に、支えられ共に歩む学校
- (2) 目指す生徒像…「他者を尊重し、自らの多様な可能性やよさ【資質・能力】を見出し時に個々に、時に全体で、課題解決を図る、考え、実行する生徒」
- ① 自らの将来へ向け「夢と希望が持って努力し自らの可能性やよさを見出し高める」生徒
 - ② 自らを高めるために「正しい判断力と行動力がある」生徒
 - ③ 他に対して「豊かな人権意識を持ち、自己の責任を果たし他者と協働できる」生徒
- (3) 目指す教師像
- 「豊かな人権感覚をもち、自らの多様な可能性を見出し（よさ・強みを發揮し）組織的に課題解決を図り、常に生徒を中心に据えた教育活動を実践する教師」
- ① 自己研鑽に努め、法令・服務規律を遵守する。
「生徒・保護者から信頼され、自らを高めながら生徒を成長させる」教師
 - ② 教育のプロとしての誇りをもつ
「生徒の意欲を育て成長を促す、よりよい指導方法を常に考え実行する」教師
 - ③ 組織人としての自覚を持ち、生徒のためによりよい教育環境・学校づくりに邁進する
「組織の一員として協調し、かつ新取の精神をもって創造的な努力を惜しまない」教師

学校経営の目標

- 1 中期経営目標（中間的課題）
 - (1) 「実社会に生きて働く学力」を育成【課題解決力】
 - (2) 「豊かな人間性と人権感覚」の育成
 - (3) 「GIGA スクール構想」の推進
 - (4) 「キャリア形成・夢の実現」の支援（※令和3年度 西東京市キャリア教育研究奨励校）
 - (5) 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成
 - (6) 「規範意識、及び持続可能な社会に向けて課題解決を図る力」の育成
 - (7) 「西東京市小中一貫教育」の推進
 - (8) 「インクルーシブ教育」の推進
 - (9) 「特別支援教育」の充実
 - (10) 「西東京あったか先生」の推進
 - (11) 「ライフワーク・バランス」の推進

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- (1) 「実社会に生きて働く学力」を育成【課題解決力】
 - ・生徒の「興味」や「自ら学ぶ力」を引き出し、課題解決に向けて思考・判断を伴う知識・技能の活用を図り対話的に学び、生徒自身が主体的に解決を図る場面を多く取り入れる。
 - ・目標・課題の提示と振り返りを行う「主体的・対話的で深い学び」を基本スタイルとする。
 - ・2, 3 学年数学において、習熟度別指導を実施し、より個に応じた指導の充実を図る。
- (2) 「豊かな人間性と人権感覚」の育成
 - ・多様な個性を尊重する豊かな人権感覚を培い、あたたかな学びの環境と信頼関係を涵養する。
 - ・課題解決に向けて多様な人々と協働し相互に高め合う共生社会に必要な資質・能力を培う。
 - ・道徳授業を学年間ローテーションで全教員が担当し、専門性を生かし道徳教育を充実させる。
- (3) GIGA スクール構想の推進
 - ・ICT やタブレットを活用し、学校と家庭の双方で多様な生徒一人一人に応じた「個別最適な学び」と多様な個性を生かす「協働的な学び」の相乗効果による一体的な充実を図る。
- (4) 「キャリア形成・自己実現」の支援
 - ・生徒が各教科や学校の学びのよさや価値を見出し自己のキャリア形成に生かせるようにする。
 - ・キャリア・パスポートを活用し、生徒の自己理解の深化と意図的なキャリア形成を促す。
 - ・ハローワークや親父の会など外部人材を活用した職業学習などの体験的な学習を重視する。
- (5) 「やり抜く力・たくましい心と体」の育成
 - ・生徒が自ら創り上げる行事を成功させ、達成感や自己肯定感を育み、やり抜く力を培う。
 - ・毎年、生徒自らが考え創り上げる準備運動「保中ステップ」を体育で実施し体力向上を図る。
 - ・各学期の「生活習慣の振り返り調査」を基に個に応じた指導助言による健康教育を推進する。
- (6) 「規範意識、及び持続可能な社会に向けて課題解決を図る力」の育成
 - ・学級活動や委員会等の多様な集団活動を通して責任と役割を主体的に担い、集団や社会のよさを実感する体験から、規範意識の醸成を図る。
 - ・SDGs の 17 の目標の中の 3 項目、特に「13. 気候変動に具体的な対策を」に重点的に取り組む。
- (7) 「西東京市小中一貫教育」の推進
 - ・小中学校の系統性・連続性を生かした英・数カリキュラム等により小通一貫した教科指導を進める。また児童・生徒の協働的活動を通して西東京市の目指す小中一貫教育の充実を図る。
- (8) 「インクルーシブ教育」の推進
 - ・行事や部活動等においてのびる学級と通常学級の連携を図り、生徒の連帯感を深め共生社会に向けて、ともに学び合う意識を育み、組織的にインクルーシブ教育を推進する。
- (9) 「特別支援教育」の充実
 - ・昨年度より発足した校内委員会により組織的な情報共有を図り、校内スクールカウンセラー及び外部機関と連携し、不登校生徒の支援及び特別支援教育を充実させる。
- (10) 「西東京あったか先生」の推進
 - ・担当部教員による服務研修を毎月 1 回組織的に実施し、当該月に発生しやすい事故防止チェックシートを毎回行い、服務事故をゼロにする。また西東京市子ども条例の周知等を行う。
- (11) 「ライフワーク・バランス」の推進
 - ・教職員の各自の担当業務の改善の推進し、分掌組織の見える化により、整理・統合化を図る。
 - ・年間の部活動の活動内容の精選、及び活動時間の短縮化を図り、教職員の在校時間を短縮する。